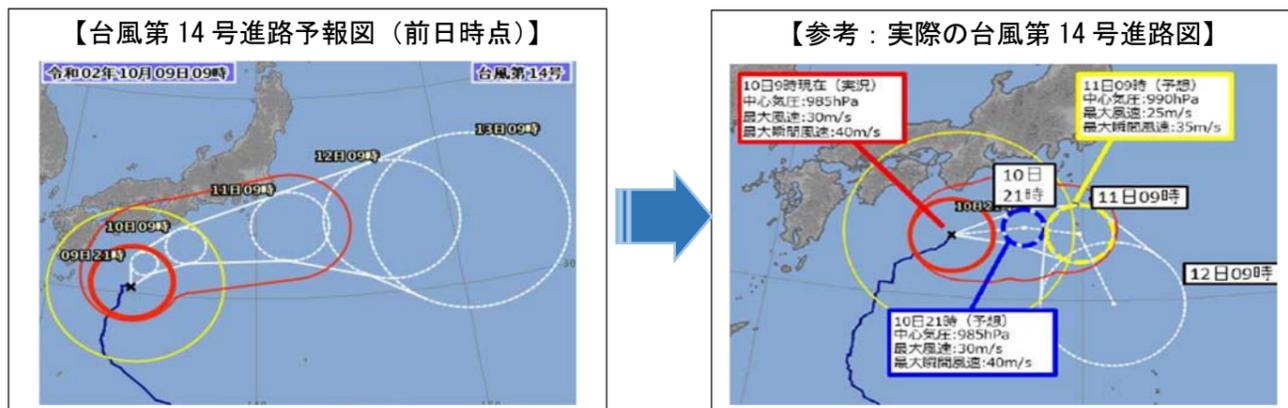


2 今年度の実災害（台風第14号）での対応

(1) 台風第14号（10月10日）の概要

台風第14号の予報（前日14時時点）では「強い勢力であり、神奈川県が暴風域に含まれる。最接近は10日18時頃の見込み」とのことでした。その後、台風の進路が想定よりも大幅に南東へ進み、神奈川県は暴風域に含まれない見込みとなりましたので、降雨量を考慮して避難場所を即時開設できる体制は確保しつつ、通常の大雨対応に切り替えて対応しました。



(2) 本市の主な対応（予報に基づく動きまで）

本市では「台風上陸」を前提として、**昨年の台風第15号・第19号を教訓として作成した「台風対応タイムライン」に基づき、早期の警戒体制確立や避難場所（運営体制含む）の確保等を行うとともに、コロナ禍にも対応した避難情報等の発信**（例：早めの避難準備発令や、避難場所の混雑状況のリアルタイム発信など）が速やかに行われるよう、準備を整えました。

ア 事前の対応

- 各区局の体制及び実施事項の確認： 各区局の防災主管課に対し、気象情報等を随時共有するとともに、**台風上陸に備えた体制及び実施事項を確認**
- 避難場所の開設調整及び体制確保： 各区において**避難場所の開設調整**（体調不良者等用の避難スペース確保を含む）及び開設数に応じた**動員職員の調整**
- 避難場所の混雑状況等の掲載準備： 市ホームページの「横浜市防災情報ポータル」や、区ホームページの「**重要なお知らせ**」に、各避難場所の**開設状況や混雑状況**を発信できるよう準備

イ 前日の対応

- 「10日14時頃から強い降雨見込み」との気象情報に基づき、**次の対応方針を決定し、全区局に周知**しました。
- **強い降雨の2時間前である「10日12時」**を、即時避難勧告対象区域等に対する「**警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）の発令時刻**」とする。
 - 市民の避難準備の時間を確保するため、**警戒レベル3発令の2時間前「10日10時」**に、市民への**事前予告**を行う。
 - 「10日9時」に「**災害対策警戒本部**」を設置する。

【参考】本市の主な対応（時系列）

内容	日時	事前の対応 (～9日)	前日の対応 (9日)	台風当日(10日)当初予定していた対応			
				9時	10時	12時	14時
【台風の動き】 (予報)				注意報級の降雨	→		強い降雨
市・区の体制確立		<各区局の体制及び実施事項の確認> 各区局の防災主管課に対し、気象情報等を随時共有するとともに、台風上陸に備えた体制及び実施事項を確認	<対応方針の決定> ○ 強い降雨の2時間前の「10日12時」を、即時避難勧告対象区域等に対する「警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）の発令時刻」とする。 ○ 市民の避難準備の時間を確保するため、警戒レベル3発令の2時間前「10日10時」に市民への事前予告を行う。 ○ 「10日9時」に「災害対策警戒本部」を設置する。	<市・区災害対策警戒本部の設置> 【市災害対策警戒本部】 ・台風対応にあたる区局の体制確認 ・被害状況の集約、市民への情報発信等について区局へ指示 【区災害対策警戒本部】 ・避難場所となる各施設へ連絡を行い、開設・運営を行う職員を派遣 ・区内の被害情報を収集するとともに、市災害対策警戒本部へ報告			
避難場所の確保		<避難場所の開設調整及び体制確保> 各区において、避難場所の開設調整及び開設数に応じた動員職員の調整		<避難場所開設の指示> 12時（警戒レベル3発令）までに開設		<避難者の受入れ>	
市民への情報発信		<避難場所の混雑状況等の掲載準備> 市ホームページの「横浜市防災情報ポータル」や、区ホームページの「重要なお知らせ」に、各避難場所の開設状況や混雑状況を発信できるよう準備		<市民への事前予告> 避難準備の時間を確保するため、警戒レベル3発令の2時間前に、市民への事前予告を行う。		<警戒レベル3（避難準備・高齢者等避難開始）発令> <避難場所の情報発信> 避難場所の開設状況や混雑状況等の情報を市・区のホームページに掲載（以降、随時更新）	



【参考】区ホームページのトップページ（イメージ）



【参考】横浜市防災情報ポータル（デモ）